

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 倉庫精練株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3578 URL http://soko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中前 和宏
 問合せ先責任者 (役職名)総務課長 (氏名)上田 紀昭 (TEL)076-249-3131
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,697	5.8	△110	—	△293	—	△305	—
28年3月期第2四半期	1,604	△9.3	△188	—	△255	—	△267	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △638百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △258百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△42.88	—
28年3月期第2四半期	△37.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,766	1,615	32.7
28年3月期	5,993	1,999	32.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,558百万円 28年3月期 1,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	4.7	△180	—	△340	—	△360	—	△50.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	7,140,078株	28年3月期	7,140,078株
29年3月期2Q	19,377株	28年3月期	19,077株
29年3月期2Q	7,113,684株	28年3月期2Q	7,121,434株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判

断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人所得に改善がみられるものの個人消費の回復が足踏みし、中国や新興国の経済の減速や英国のEU離脱問題などの世界経済の影響により、円高・株安が進行し、国内経済の減速感が強まり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当繊維業界におきましても、国内外の大きな事業環境の変化、輸入原材料価格の高止まり、企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、国内事業では工場集約最適化を追求した生産効率、収益の改善、得意とする素材・加工の開発・販売、海外事業では生産の拡大・安定化を強力で推進しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16億97百万円(前年同四半期比5.8%増)となりましたが、想定を上回るペソ安の影響による為替差損が発生したため、経常損失は2億93百万円(前年同四半期は2億55百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億5百万円(前年同四半期は2億67百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

衣料用途においては、得意とする複合、高次加工商品は堅調に推移しましたが、一般商品は、低迷し、総じて減少しました。資材用途においては、高機能繊維商品関連は堅調に推移しましたが、車輛資材(国内生産)は減少となりました。一方、車輛資材(メキシコ生産)が、計画通り拡大したため、繊維事業全体における売上高は、15億2百万円(前年同四半期比8.2%増)となりましたが、輸入原材料の高止まりが燃料安の効果を上回り、営業損失は1億30百万円(前年同四半期は1億96百万円の損失)となりました。

② 機械製造販売業

機械製造販売業における売上高は86百万円(前年同四半期比18.7%減)、営業利益は16百万円(前年同四半期3百万円の利益)となりました。

③ 内装業

内装業における売上高は1億13百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益は2百万円(前年同四半期0百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億27百万円減少し、47億66百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少5億58百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億43百万円減少し、31億50百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少7億74百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億83百万円減少し、16億15百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億5百万円の計上によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億58百万円減少し、10億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少1億42百万円等の増加要因により、84百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は3億27百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6百万円等により、4百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は20百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5億92百万円等により5億94百万円の支出、(前第2四半期連結累計期間は1億31百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました、当第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において経常損失を計上し、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、連結財務諸表提出会社である当社は当該状況を解消すべく、国内工場統合による生産効率改善の推進、総経費の圧縮等の、経営諸施策を実施し、経営体質の改善を更に推し進めております。さらには、メキシコにおける生産子会社の事業拡大・安定化を強力に推進しております。

以上の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669,273	1,111,169
受取手形及び売掛金	1,002,765	860,374
商品及び製品	198,478	175,379
仕掛品	202,045	153,524
原材料及び貯蔵品	174,093	173,453
繰延税金資産	2,481	2,505
その他	262,752	197,961
貸倒引当金	△3,402	△2,788
流動資産合計	3,508,487	2,671,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,216,553	1,079,549
機械装置及び運搬具(純額)	734,976	570,134
その他(純額)	317,801	231,240
有形固定資産合計	2,269,332	1,880,924
無形固定資産	6,475	5,702
投資その他の資産		
投資有価証券	162,819	163,990
その他	49,155	46,838
貸倒引当金	△2,865	△2,865
投資その他の資産合計	209,109	207,963
固定資産合計	2,484,916	2,094,590
資産合計	5,993,403	4,766,171
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	665,410	642,202
1年内返済予定の長期借入金	712,996	166,005
未払法人税等	12,118	12,383
賞与引当金	19,407	16,776
その他	201,686	162,457
流動負債合計	1,611,619	999,825
固定負債		
長期借入金	1,736,058	1,508,873
役員退職慰労引当金	26,886	10,210
退職給付に係る負債	465,076	477,187
負ののれん	4,357	3,897
資産除去債務	94,186	94,818
その他	56,023	55,485
固定負債合計	2,382,588	2,150,472
負債合計	3,994,207	3,150,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	130,686	130,686
利益剰余金	1,136,902	831,865
自己株式	△2,625	△2,654
株主資本合計	1,770,964	1,465,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,929	12,839
為替換算調整勘定	231,999	157,043
退職給付に係る調整累計額	△74,361	△76,827
その他の包括利益累計額合計	171,567	93,055
非支配株主持分	56,663	56,919
純資産合計	1,999,195	1,615,872
負債純資産合計	5,993,403	4,766,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,604,342	1,697,133
売上原価	1,472,985	1,516,773
売上総利益	131,357	180,360
販売費及び一般管理費	319,782	290,644
営業損失(△)	△188,425	△110,283
営業外収益		
受取利息	179	264
受取配当金	1,463	1,537
受取賃貸料	44,141	42,091
持分法による投資利益	-	3,075
その他	6,698	7,972
営業外収益合計	52,482	54,942
営業外費用		
支払利息	20,170	16,792
賃貸費用	10,819	10,287
持分法による投資損失	2,031	-
為替差損	82,976	208,373
その他	3,288	3,146
営業外費用合計	119,285	238,600
経常損失(△)	△255,228	△293,942
税金等調整前四半期純損失(△)	△255,228	△293,942
法人税等	11,464	10,255
四半期純損失(△)	△266,693	△304,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	928	840
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△267,621	△305,037

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△266,693	△304,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,260	818
退職給付に係る調整額	21,932	△2,466
為替換算調整勘定	△12,707	△332,841
その他の包括利益合計	7,963	△334,489
四半期包括利益	△258,729	△638,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259,668	△641,435
非支配株主に係る四半期包括利益	938	2,748

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△255,228	△293,942
減価償却費	91,466	84,428
持分法による投資損益(△は益)	2,031	△3,075
その他の償却額	△459	△459
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32,241	12,111
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,837	△16,676
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,176	△2,631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△614
受取利息及び受取配当金	△1,642	△1,801
支払利息	20,170	16,792
為替差損益(△は益)	82,976	187,765
売上債権の増減額(△は増加)	△92,218	142,391
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,078	72,260
仕入債務の増減額(△は減少)	34,651	△23,208
その他の資産の増減額(△は増加)	64,723	△14,341
その他の負債の増減額(△は減少)	△69,222	△50,178
小計	△188,081	108,822
利息及び配当金の受取額	1,904	2,064
利息の支払額	△20,092	△16,726
工場再編に伴う支出	-	-
法人税等の支払額	△121,133	△9,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	△327,402	84,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,886	△6,749
無形固定資産の取得による支出	△1,515	-
その他の支出	△321	1,887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,722	△4,861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△94,318	△592,348
自己株式の取得による支出	△78	△29
配当金の支払額	△35,626	-
非支配株主への配当金の支払額	△570	△570
リース債務の返済による支出	△1,157	△1,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,750	△594,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,306	△43,710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△493,182	△558,103
現金及び現金同等物の期首残高	2,174,580	1,606,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,681,398	1,048,169

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。